

# ライフイノベーションセミナー開催のお知らせ

テ ー マ: 健康長寿社会実現のための医療・福祉・介護・ヘルスケアのモノづくり・コトづくり

期 間: 2017 年 6 月 ~ 2017 年 12 月 (全 6 回) 各回約 180 分

原則として水曜日 14:00 ~ 17:00

対 象: 技術開発・新事業開発責任者およびその候補者

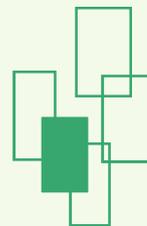
定 員: 20 名(先着順)

実施場所: 埼玉大学(一部学外の場合あり)

受講料: 無料

主 催: 埼玉大学 先端産業国際ラボラトリー

共 催: 一般社団法人 首都圏産業活性化協会



## セミナーのねらい

平成 25 年度「ライフイノベーション技術講座」、平成 26-28 年度「ライフイノベーションセミナー」に続き、今年度は現場見学を中心とした実践篇のセミナーを開催いたします。

健康長寿社会実現のための医療・福祉・介護・ヘルスケア等に関するモノ・コトづくりをテーマに掲げ、グローバル市場で新規ビジネス開発を目指す人材育成を行うとともに、先進の研究開発成果を事業化するまでの道筋を描くことを目指します。

## セミナー紹介



埼玉大学 大学院理工学研究科 教授 工学博士

先端産業国際ラボラトリー 所長 綿貫 啓一

専門は人間支援工学, プレイン・マシン・インターフェイス, バーチャルリアリティ, ロボティクス, 脳科学, 医工学, ヘルスケア, 次世代自動車等に関する研究

我が国の 65 歳以上の高齢者人口は、約 3,400 万人となり、総人口に占める割合(高齢化率)も 26.7%と なっております。今後、我が国の高齢化は、大都市圏を含めて全国的な広がりを見せております。世界の医療機器市場は 2018 年度には 50 兆円を超えると言われ、先進国の高齢化や新興諸国の経済成長を背景に、今後も大きな成長が見込まれています。我が国の医療機器市場は 2018 年度には 3.8 兆円が見込まれ、医療機器の輸出は拡大傾向にあります。新興国やアジア市場の拡大を捉えた欧米企業は堅調な伸びを示しています。生命・健康に直接に係わる医療機器の半数以上を我が国では輸入に依存する現在の状況を鑑みると、我が国の優れたものづくり技術を医療・福祉・介護・ヘルスケア機器関連分野に活かし、進展する少子高齢社会の臨床現場へ技術的側面から貢献することを通じて、我が国企業の新規市場開拓と輸出競争力強化を実現していくことは、今日喫緊の課題であると言えます。

本セミナーでは、国民が健やかに生活し、健康寿命伸長産業の確立を目指し、アクティブシニアが安全、安心、快適でエコな空間や生活移動手段の確保、人の生活の質(Quality of Life: QOL)向上を実現するための先進的な医療機器やヘルスケア機器の設計開発、アシスティブ・テクノロジー(Assistive Technology: 支援技術)、ヒューマンインターフェイス、ヘルスケア、IoT(Internet of Things: モノのインターネット化)、AI(Artificial Intelligence: 人工知能)などについて講義および実習を行うとともに、医療・介護施設の見学を通じて、現場のニーズを学びます。本セミナーでは、主として人間支援機器設計法、医療・ヘルスケア機器設計法、ヒューマンインターフェイス関連技術について説明し、自動車、家電、医療・福祉・介護・ヘルスケア分野の技術者および研究者などに役立つ内容を提供します。

本セミナーの対象となる受講生としては、人の QOL の向上に貢献する機器を企画、研究、設計、開発に関する仕事に従事あるいは興味がある方を対象としています。また、ユニバーサルデザインの観点を勘案してシステム開発に関する仕事に従事あるいは興味がある方も対象としています。受講に際しては、特に予備知識は必要ありません。

## カリキュラム(予定)

年月日	場所	テーマ	概要	講師
1 2017年 6/14 (水)	埼玉大学 総合研究棟 1階 シアター教室	“ゼロ”からの医療機器設計 開発事例紹介	“ゼロ”から医療機器設計開発に携わった経 験から勘所や大変さを事例と共に紹介する。 今後の進むべき方向及び新規事業化等につ いてディスカッションを行う	ケイ・アンド・ケイ株式会社 久保田博南様
2 7/12 (水)	介護施設	現場をみよう① ～地域に密着した介護施設 の課題と解決策提案会～	地域に密着した介護施設見学を通して、ヘル スケア機器開発を考える	介護施設  <b>詳細検討中</b>
3 8/23 (水)	埼玉大学 総合研究棟 1階 シアター教室	現場をみよう② ～理学療法士の取り組みと 今後の展開～  ～医師・企業及び大学による 地域密着クリニックの取り組 み～	若手理学療法士が考える課題と今後の方向  地域密着クリニック構想を具現化する試みを 紹介するとともに、埼玉大学先端産業国際ラ ボラトリーでの医工連携の取り組みを報告す る	(株)エバーウォーク 理学療法士 輪違弘樹様他  医療法人まえた診療所 前田医師 (株)創健 岡野英幸様 <b>詳細検討中</b>
4 10/25 (水)	病院関連 施設	現場をみよう③ ～地域中核医療機関見学会 ～	高度な処置が必要となる第三次救急やがん 診療など、総合的に対応してくれる地域中核 医療機関の見学及び意見交換を行う	病院関連施設  <b>詳細検討中</b>
5 11/22 (水)	埼玉大学 研究機構棟 7階大会議室 & 共同研究 室	現場をみよう④ ～欧州における医療機器に ついて(医療現場からのニー ズ提供・製品開発について) ～	欧州における医療事情および医療機器開発 について解説し、現場ニーズ等についてディ スカッションする～	株式会社モノ・ウェルビーイング 代表 榎原正博様
6 12/6 (水)	埼玉大学 総合研究棟 1階 シアター教室	先進ヘルスケア関連の技術 動向	医療・介護・福祉・ヘルスケア等において、 AI/IoT/HMI 技術等によるヘルスケア・イノベ ーションの現状と今後の技術動向について解 説する。また、先進ヘルスケア関連の計測技 術について、実習を行う。	埼玉大学大学院理工学研究科 教授 綿貫啓一

受 講 申 込 書			
企 業 名			代表者名
事 業 内 容	業種:		従業員数
受 講 者 氏 名	ふりがな		
担当部署名(役職)	(役職: )		
担 当 部 署 所 在 地	(〒 - )		
連 絡 先	TEL:	FAX:	
	E-mail:		
受 講 動 機			
ご意見・その他 (オブザーバー氏名)			

応募方法: 上記受講申込書に必要事項をご記入のうえ、メールまたは FAX にてお申し込みください。

公募締切: 随時受付(定員になり次第締切)

問合せ・申込先: 埼玉大学 先端産業国際ラボラトリー 担当: 藏田・長舟

〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保 255 TEL: 048-714-2038 FAX: 048-858-9419

E-mail: hiu@gr.saitama-u.ac.jp